

Japan
Food
Research
Laboratories

試 験 報 告 書

第 105013951-001 号

2005年(平成17年)03月08日

依 頼 者 エルゾン株式会社

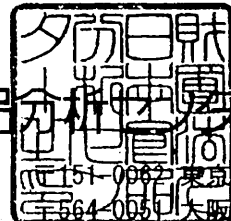
検 体 ER-0501

表 題 遊離残留塩素ろ過能力試験

2005年(平成17年)01月27日当センターに提出された
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

財団法人

日本食品



東京本部 〒151-0962 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

遊離残留塩素ろ過能力試験

1 依頼者

エルゾン株式会社

2 検 体

ER-0501

3 試験目的

JIS S 3201 : 2004「家庭用浄水器試験方法」によって、検体の遊離残留塩素ろ過能力を試験する。

4 試験概要

JIS S 3201 : 2004「家庭用浄水器試験方法」の連続式浄水器によって、遊離残留塩素を 2.0 ± 0.2 mg/L の濃度に、水温を 20 ± 3 °C に設定した試料水を調製し、検体にろ過流量 3 L/min で通算 40,000 L 通水した。適宜、ろ過水及び試料水を採水して、遊離残留塩素を測定した。また、ろ過水及び試料水の測定値から除去率を算出した。

なお、ろ過水中の濃度が検出限界以下の場合は検出限界から求めた。

5 試験結果

結果を表-1に示した。

なお、通水時の水温は20～23 ℃(平均22 ℃)であった。

表-1 遊離残留塩素ろ過能力試験結果

通水量 (L)	遊離残留塩素(mg/L)		除去率 (%)
	ろ過水	試料水	
通水開始時	検出せず [*]	2.0	99以上
4,120	検出せず [*]	1.9	98以上
9,090	検出せず [*]	2.0	99以上
13,130	検出せず [*]	1.9	98以上
20,530	検出せず [*]	2.0	99以上
24,780	検出せず [*]	1.9	98以上
29,250	検出せず [*]	1.9	98以上
33,420	検出せず [*]	2.0	99以上
40,000	検出せず [*]	1.9	98以上

検出限界：0.02 mg/L

6 試験方法

遊離残留塩素をDPD吸光光度法により測定した。

以 上




平成 17 年 4 月 20 日

エルゾン株式会社

御 中

株式会社 東京化学分析センター
代表取締役社長 森本 薫子
千葉県市原市玉前西二丁目1番地52
TEL(0436)21-1441(代)
FAX(0436)21-1599

分析結果報告書

社 長	確 認 者	測 定 者
	環 境 衛 生 有 限 公 司 	

依頼先名	試料名	飲料水 (ER-0501)	1点
------	-----	---------------	----

採取年月日 平成 年 月 日

受付年月日 平成 17 年 3 月 23 日

Z-05-0009 ☆1-8

計量の対象 検体No. 試料名	ER-0501	計量方法
飲料水50項目	別紙の通りです	※別紙データは40,000l通水後の試験結果です
以 下 余 白		
試料採取 御依頼者		